

平成21事業年度

決算報告書

自：平成21年4月1日

至：平成22年3月31日

国立大学法人島根大学

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 島根大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,916	10,918	2	(注1)
施設整備費補助金	1,194	1,343	149	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	155	1,859	1,704	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	0	
自己収入	14,249	15,227	978	
授業料、入学金及び検定料収入	3,643	3,580	△ 63	(注4)
附属病院収入	10,434	11,335	901	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	172	312	140	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	950	1,279	329	(注7)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金	1,355	1,169	△ 186	(注8)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	45	0	△ 45	(注9)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	974	1,503	529	(注10)
計	29,894	33,354	3,460	
支出				
業務費	22,879	23,459	580	
教育研究経費	13,120	12,062	△ 1,058	(注11)
診療経費	9,759	11,397	1,638	(注12)
一般管理費	2,449	2,778	329	(注13)
施設整備費	2,605	2,568	△ 37	(注14)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	155	1,849	1,694	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	949	996	47	(注16)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	857	856	△ 1	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	29,894	32,506	2,612	
収入-支出	0	848	848	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度よりの運営費交付金債務が繰り越されたため、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、平成21年度補正予算が措置されたこと等により、予算金額に比して決算金額が149百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、科学技術総合推進費補助金等の採択及び設備整備費補助金の交付により、予算金額に比して決算金額が1,704百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、入学志願者数の減及び在籍者数が予算積算時を下回ったことにより、予算金額に比して決算金額が63百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮、手術件数の増加及び診療体制の充実等に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が901百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、講習料収入の増、保育料収入の増及び科学研究費補助金間接経費の獲得等により、予算金額に比して決算金額が140百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が329百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金については、競争入札の結果により、予算金額に比して決算金額が186百万円少額となっております。
- (注9) 承継剰余金については、当初予算で賠償金の支払いを見込んでいたが、支払がなかったことにより、予算金額に比して45百万円少額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階での予定を含め、教育・研究活動の向上を図るために計画の見直しを行ったため、予算金額に比して決算金額が529百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、当初予算で診療経費に区分される650百万円を配分していたこと、人事院勧告に準拠したことによる月例給、期末・勤勉手当の引き下げによる減及び人件費改革への対応等による人件費の削減額等407百万円により、予算金額に比して決算金額が1,058百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、(注11)により当初予算で650百万円を教育研究経費に配分していたこと、附属病院収入増に伴う支出の増加及び医療機器の整備等に伴う目的積立金取崩額の増加等988百万円により、予算金額に比して決算金額が1,638百万円多額となっております。
- (注13) 一般管理費については、目的積立金取崩額を事務用電算機の更新、院内保育所の増設及び学内環境の整備等に使用したこと、また旧奥谷宿舎を改修したこと及び科学研究費補助金間接経費の支出により、予算金額に比して決算金額が329百万円多額となっております。
- (注14) (注2)及び(注8)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が37百万円少額となっております。
- (注15) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,694百万円多額となっております。
- (注16) (注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が47百万円多額となっております。